

特別進学コース

特別進学コースの取り組み①

従来の担任制が変わる！

担任縦断制の実施

担任縦断制～概要～

特別進学コースの担任が曜日によって入れ替わる
(学年を跨ぐ)

例	月	火	水	木	金
1年生 (責任者A)	A	C	A	B	A
2年生 (責任者B)	B	A	B	C	B
3年生 (責任者C)	C	B	C	A	C

※従来の担任＝責任者

担任縦断制メリット

①生徒を**多角的に指導**できる

→多くの教員で一人一人の

情報を共有

担任縦断制メリット

②生徒が色々な教員に相談ができる機会が増える

③各担当の色々な価値観を生徒に伝えることができる

担任縦断制メリット

④成功/失敗体験を共有できる

⑤縦の繋がりが強くなる

(横断ではできない)

特別進学コースの取り組み②

定期テストが変わる！

単元テストの実施

～概要～

定期テストを廃止

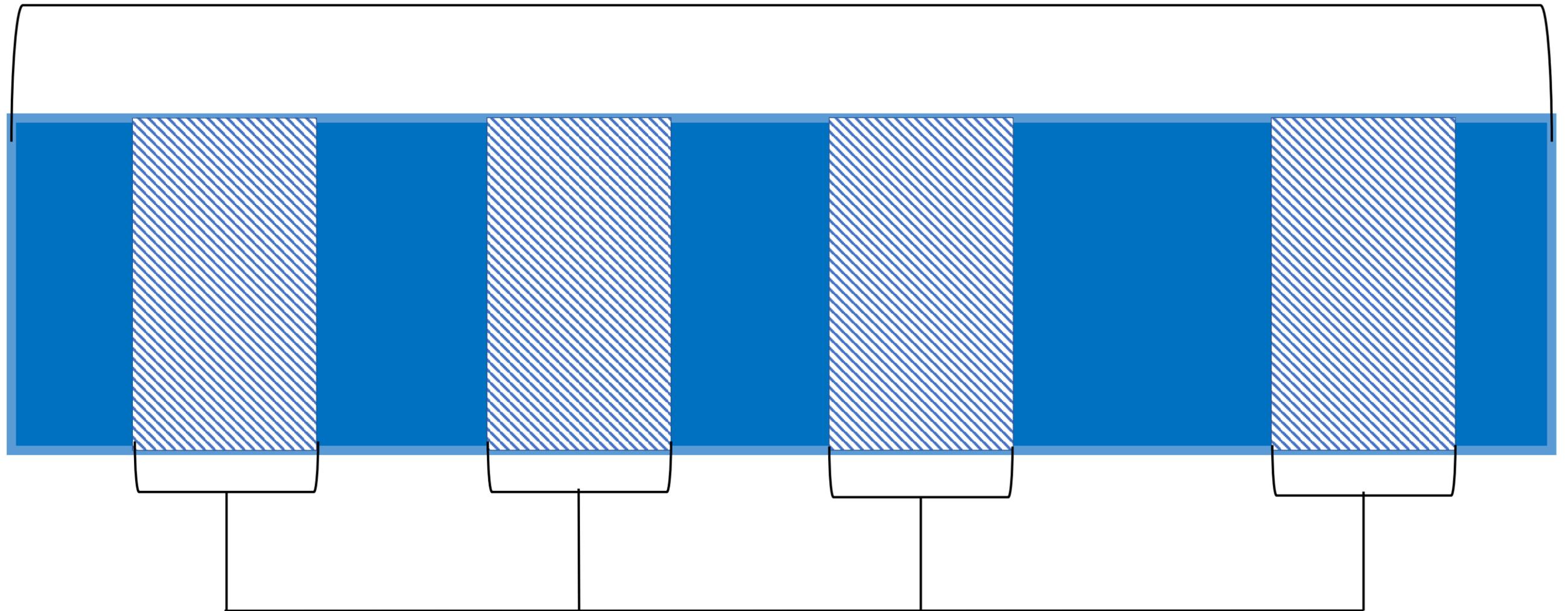
→**単元テスト**を実施

(**約2～3週間程度**に1度)

規定点数に達しなければ

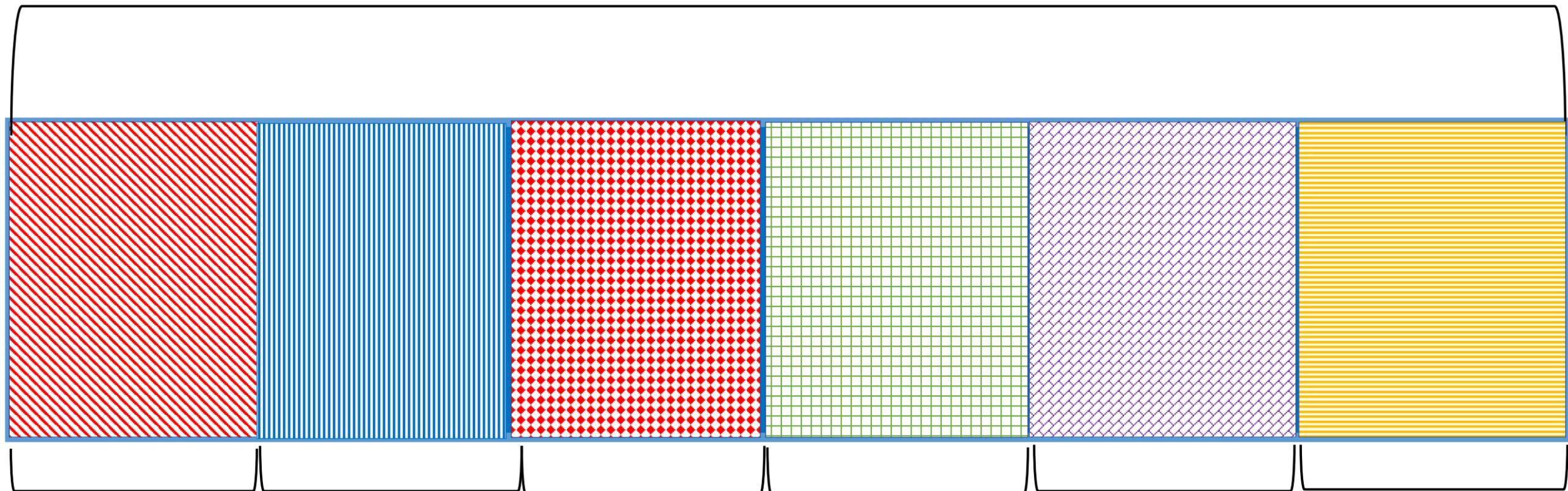
追試を実施

従来の定期テスト



■ 部分は出題されないため学習の定着度が測れない

単元テスト



単元テストでの出題

既習事項のほとんどの定着度が測ることができる

なぜ単元テスト導入？

定期テストを実施する意味

- ①成績をつけるため？
- ②授業の理解度を測るため？
- ③生徒に勉強をさせるため？

<定期テストにある問題点>

- ①広範囲の出題で確認できない部分が出る
- ②テスト前に詰め込んですぐに忘れてしまう
- ③定期テストのためだけに勉強をしている

単元テスト制

①既習事項の確認がより確実にできる

→習った事項はほぼ出題

「勉強したのに・・・」がない

単元テスト制

②生徒に日々勉強する習慣が
身に付く

→定期テスト前だけ勉強する
習慣がなくなる

単元テスト制

本校テスト前学習時間調査

1 学期中間 高1 平均128.4分

101 平均124.6分

1 学期期末 高1 平均140.3分

101 平均171.9分

単元テスト制

本校テスト前学習時間調査

2学期中間 高1 平均134.1分

101 平均134.9分

2学期期末 高1 平均156.1分

101 平均183.9分

単元テスト制

③追試を随時行っていくこと

で遅れが減る

→「できなかつた・・・」

だけで終わらない

単元テスト制

④テスト問題をいつでも

学習ツールとして使える

→復習することで定着を図る

特別進学コースの取り組み③

語彙テストの徹底

朝	8：15～
	漢字語彙テスト
HR後	15：10
	英単語テスト

毎日実施

語彙テスト

※すでに各テスト実施回数

130回突破！

語彙：約1400語

(単語帳**9割**終了)

英単語：総数約5200語

(単語帳現在**5週目**突入)

1400語を**60~80%**習得

特別進学コースの取り組み④

夜間学習会

平日20：00まで教室を解放
(通常18：30生徒下校)

教員2名以上が毎日担当

自習・補習と希望に合わせて

特別進学コースの取り組み⑤

休日・長期休暇学校解放
希望者対象

3年生の補講に合わせて解放
長期休暇は**ほぼ毎日**学校解放

特別進学コースの取り組み⑥

学業特待生の用意

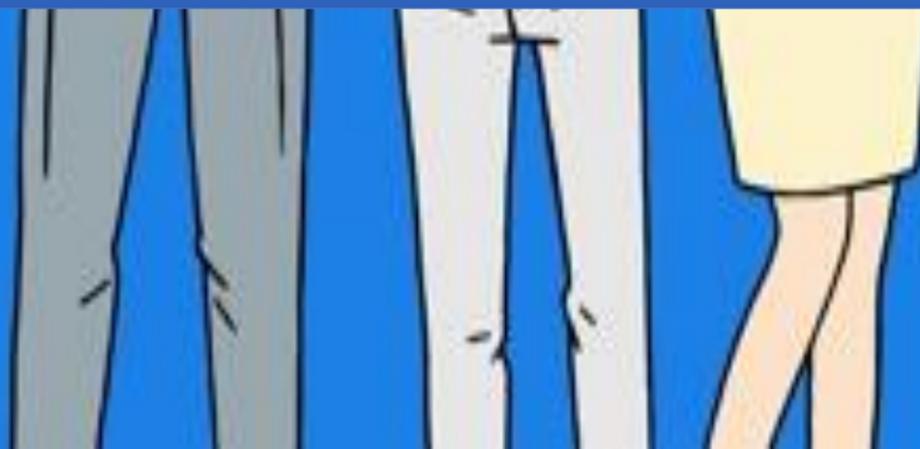
本学入試における特定の基準を満たした受験生が対象

特別進学コースの実績

全国Eフエスタ開催！！

期間：7月19日～9月9日

デイリーレッスンを1つ完了毎に1Eね！
期間中の平均Eね！の数で順位を競う大会



特別進学コースの実績②

第2回実用英語技能検定準2級
を7名全員が初めて受験しました

3名が見事合格しました！！

合格率は**43%**です！！
(高校生の合格率は**約34%**)

次回で**全員合格**を目指します！！

特別進学コースの実績③

第2回漢字検定準2級
を7名中**3**人が受験しました

3名が見事合格しました！！

合格率は**100%**です！！
(高校生の合格率は**約30%**)

次回で**2級合格**を目指します！！

特別進学コース生徒の特徴

- ① 学びに対してポジティブ
- ② 知的な好奇心が強い
- ③ 楽しく学ぼうとする
- ④ 負けず嫌い
- ⑤ 自分の時間を大切にしている